



学校だより

平成28年 1月22日 No.29

教育目標

- か 考える子ども
- が がんばる子ども
- や やさしい子ども
- け 元気な子ども

こたき

☎ 92-4013
FAX 92-4019

いわき市立小名浜西小学校長 高木清美

しっかり聞き、堂々と話せる子を目指して



本校では、今年度4月から「自分の思いや考えを確かに表現し、伝え合う力を身に付けた子どもの育成」をテーマに全職員で研究をしています。教師同士が授業を参観し合い、指導の在り方について協議を進めています。子ども同士が伝え合う場を多くつくり、話す・聞くの経験を意図的にいろいろな場面で生かせるようにしています。

話すためには、まず、自分の思いや考えを持つことができないと始まりません。周りのいろいろなことに触れて、自分の心の中に生じたものを言葉にできなくてはなりません。

一方聞くことは、話したいことが浮かばなければ黙っていればよいのと違って、興味・関心がないからといって聞くことをやめるわけにはいきません。つまらない事務的な連絡も、しっかり聞くことができなくてはなりません。

さらに、聞くことと話すことを同時に使う「伝え合い」「話し合い」ができるためには、相手に分かるように話し、相手を理解するように聞くことが求められます。そして、多様な思いや考え方に触れ、類似点や相違点を知ることにより、自分の意見をより確かに行っていくのです。

「話すこと、聞くことは」は、人間の生活の基本です。従って、毎日の生活の中で育てることができる、と私は思います。子どもの「話したい」「聞きたい」を育み、お互いを言葉で理解し合う経験をたくさん積ませたいです。

学校では授業の中に、この「伝え合い」の場をできるだけ設けるように努めています。手を挙げた子だけが発言する学習から互いの意見を出し合い、交流しながら学習するスタイルに転換を図ろうとしています。そうすることで、学習に主体的に関わる態度を育てたいと考えています。

今、携帯ゲーム機やスマートフォンなど、生身の人間同士の関わりがなくても、用事を済ますことができる世の中になりました。だからこそ、人と人との関わりの中で学び合うことを大事にしていきたいと思っています。



グループでの学び合い



ペアでの学び合い

力作がそろろう！

子どもたちが一生懸命書いた作品が廊下に展示されました。一字一字ていねいに心を込めて書いた作品は、どれも味わい深いです。「きれいな字は一生の宝」と言われます。パソコンが普及した現代でも、字を書くことはなくなりません。美しい文字を意識して、ていねいに書くことを小学生の内にたっぷり経験させられたらいいですね。

